

# まちの話題

3月7日[Sat]~8日[Sun]

## 多久高マルシェ開催！



▲手づくりのPOPで店舗を飾り、元気にお客さんを迎えました

SCOL CAFE（北多久町）を会場に、今年も多久高マルシェが開催されました。高大連携プロジェクトの一環で、福岡大学商学部飛田ゼミの学生の指導・サポートを受けながら、高校生が店舗を企画。多久の特産品やアクセサリー、スイーツ、カレーなどを仕入れ、笑顔で明るく接客しました。

多久高校の山下きらりさんは「自分たちで店を運営するのは責任重大でしたが、おいしかったよと声をかけてもらったのでうれしかったです。多久の良いPRになったと思います」と笑顔。市内外問わず多くの人々が来場し、それぞれが高校生たちとの会話を楽しみながら買い物を満喫しました。



3月14日[Sat]

## 令和7年度文化功労者表彰式



▲表彰式には香月正則市長らも来賓として出席し、功績を称えました

多久市文化連盟で長年にわたり活動を続け、芸術・文化の分野で貢献された人を表彰する「令和7年度文化功労者表彰式」（主催：多久市文化連盟）が中央公民館で行われました。今回の受賞者は以下の通りです。（敬称略）

### ■芸術文化奨励賞

毛賀 和子（多久町）…会員歴11年。コーラスいずみでアルトのパートリーダーを担う。音楽祭・文化祭などに積極的に参画。

### ■芸術文化賞

内野 正昭（東多久町）…多久市文化連盟常任理事。多久市囲碁将棋連盟で幅広い年齢への囲碁将棋の普及に努めてきた。

古賀 豊美（北多久町）…文化祭り・桜祭り・紅葉祭りなどのイベントに積極的に参画。舞踊界の発展に大きく寄与した。

3月17日[Tue]

## 「丹邱の里」のひな祭り



▲多くの人々が華やかなひな飾りに思わず足を止めて見入りました

春の訪れを告げる「丹邱の里」のひな祭り（主催：「丹邱の里」のひなまつり実行委員会）が、4月初めまで市内4か所で開催されています。多くの市民が訪れる多久市役所ロビーをはじめ、天山多久温泉タクア、多久市物産館「朋来庵」、JR東多久駅交流プラザには、市民から寄贈されたひな人形がずらりと並んでいます。

開催に尽力するボランティアグループ「チーム岩屋山」により、各会場では個性あふれる飾り付けが行われ、来場者の心を和ませました。特に市役所ロビーでは、江戸時代の参勤交代の行列をひな人形で表現され、孔子の論語「朋あり、遠方より来たる、また楽しからずや」を添えて歓迎の様子を描くなど、ストーリー性を持たせた趣向を凝らした展示が来場者の目を引きました。



多久をたくさん知ってもらおうSNS！

登録をおねがいします！

